

# 02

就職課による講演

## 専修大学の進路状況、就職活動支援体制について

専修大学就職部次長 高橋 力

「就職に強い」といわれる専修大学の最新の進路状況、そして就職支援体制とは。学生にどう就活に向き合ってほしいか、就職課からのメッセージも語られた。



就職手帳は秋の第1回就職ガイダンスで3年生に配布される。書き込めるカレンダーのほか、就職関連の情報が満載で就活の武器になる。

### 専修大学卒業生の進路状況

2017年3月卒業生の就職率は95.8%で前年度比0.5ポイント増加しました。景気回復による企業の採用意欲の高まり、求人倍率の増加という売り手市場の後押しもありますが、本学の学生が卒業間際まで諦めずに就職活動をしたことが一番の要因だと我々は考えています。

2016年度は、卒業生3,936名の内、就職者は3,339名。就職しなかった非就職者は546名いました。進路未提出者は51名です。卒業後の進路については、就職・進学を問わず、大学に届け出が必要になりますので、ご父母・保護者の皆様からも学生に進路届けの提出を促していただくようお願いします。

非就職者は前年度対比でマイナス83名でした。ただ気になるのは、進路先をアルバイトと届け出る学生が昨年度より増えています。就職活動に疲れた、好きなことを追求したいと、目の前の就職活動に背を向けて安易にフリーターを選ぶ人も少なくありません。しかし、フリーターは勤続年数による賃金の上昇がほとんど見込めません。正社員と比べて生涯賃金に圧倒的な差が生まれます。今が楽しければいいという考えは改めていただきたいです。粘り強く続ければ必ず結果は出ます。その支援を我々はさせていただきます。

次に学科別の特徴を見てみましょう。法学部法律学科では公務員志望度が高く、教育・公務が23%強を占めています。また、商学部会計学科では金融業界の割合が他学科と比較して高いです。さらに、ネットワーク情報学部は専門性を発揮し、51%強がIT系の企業に進んでいます。また文学部の日本語学科、歴史学科、環境地理学科では教員関係の割合が高くなっています。

就職先の企業を見ると、一般的に知名度の高いBtoC企業のほか、企業間の商取引をしているBtoB企業で世界シェア、または国内シェアが高い企業も就職先になっています。2016年度は、3,339名の学生が2,000社を超える企業に就職をしています。

次に公務員・教育関係の進路状況です。公務員試験で

は近年、筆記試験の後に行われる人物試験が重視されています。公務員志望の学生も2次試験対策として、就職課の模擬面接を利用していただけたいと思います。2016年度は国家公務員が35名、地方公務員が226名という結果でした。超難関といわれる国家公務員総合職に1名採用されました。決定機関で最も多いのは警視庁警察官の35名で、その次に東京都特別区I類23名と続きます。

教育関係に進路を決めた者は57名で、中でも2015年度4名であった公立学校の専任教員が、2016年度は12名でした。

### 専修大学が誇る充実の就職支援体制

専修大学では、「学生一人一人の顔が見えるきめ細やかな支援を通し、学生の個性と実力を活かす道を共に考え、学生の就職への主体的な決断を支える」ということを支援方針とし、就職課が学生の就職活動を全力で応援しています。その特徴は以下の4点です。

#### 特徴1 多彩な就職支援プログラム

受講することでスムーズに就職活動に取り組める就職支援講座を用意しています。3年次の前半から、就職活動に合わせて年間61講座を590展開実施しています。4年次の内定獲得まで徹底的にサポートしています。ピーク時の3年生の11月以降は毎日、就職関連講座を実施しています。

特に本学の学生が弱い筆記試験対策も随時開講しています。自らの価値観や興味関心、強み、弱みを理解するための基礎講座も用意しております。自分に合う業界、職種、企業を探る各種講座のほか、社会で活躍するOB・OGを学内に招いて実施する相談会など、多くの講座を実施しています。

また、3年次の3月、採用選考の広報活動解禁に合わせて、本学学生に対する採用意欲の高い企業や採用実績のある企業との出会いの場を提供する学内企業説明会を開催しています。今年の3月には約400以上の企業に來校いただき、延べ12,200人の学生が参加しました。

就職への一番の近道は、入念な準備にあります。その

ために、まずは学生の本分である学業に力を入れていただきたいです。そして、3年次の3月1日に照準を合わせ、余裕をもって計画的な準備をしてください。大学院への進学、公務員、教員など、どの進路に進むのか早い時期に決めていただきたいと思います。民間企業の志望者はインターンシップなどに参加して、いろいろな社会経験を積んでほしいです。

そして授業と重複しなければ極力、就職支援プログラムに参加してください。欠席した場合にはS-netで講義内容を録音したものが聞けますので利用してください。また就職手帳も作成し、配布しています(右上写真)。

#### 特徴2 充実した個別相談システム

専修大学では学生が相談したい時に相談できる環境を整えています。事前予約の必要はありません。時間も回数も制限がありません。昨年度は12,312件の相談に当たりました。アンケートの結果では8割弱の学生が「相談して良かった」と回答しています。総勢27名のスタッフを揃え、FACE to FACEで学生たちを支援しています。

#### 特徴3 進路選択を支える情報源

就職支援システムS-netで就職活動をバックアップしています。S-netは就職活動をする学生と就職課を結ぶコミュニケーションツールで、企業情報約6万件、求人情報約11,000件が掲載されています。また卒業生がどんな企業にいるのかという情報、先輩たちの就職活動の記録なども検索・閲覧できます。本年度から求人検索ナビによる検索が可能になり、企業から直接届く最新の求人情報を自宅でも見ることができます(16頁に詳細)。

#### 特徴4 3部門のトリプル・サポート

専修大学では、就職課だけでなく複数の機関の連携により入学から卒業まで進路支援を行っています。

#### キャリアデザインセンター

キャリアデザインセンターでは「自分の可能性を見つけるために」学生一人一人が自分の働き方を考え、なりたい自分の姿を自分らしく作り上げることをサポートして

います。入学直後から段階的に社会に触れる機会を持つことによって、目標が徐々に明確になり、3年次から始まる就職活動も順調に進められます。

#### エクステンションセンター

エクステンションセンターは「将来に向けて挑戦するために」様々な課外講座を提供し、難関資格取得にチャレンジする意欲ある学生をサポートしています。「公務員試験講座」も学内で開講し、リーズナブルな受講が可能です。

#### 就職課

就職課では多種多様なプログラム、個別就職相談で就職活動を強力にバックアップしています。

### 就活には心意気が重要

就活とは単なる内定を取るための活動ではないと思います。これまで学んできたこと、経験したことを将来につなげるための活動だと思います。

いくら成績が良くても、どんなに多くの資格を持っていても、英語が流暢に話せても、それだけでは内定を獲得することはおそらくできません。試されたこともない、成績評価もされることがない能力が求められます。ですから、学生は戸惑う。なぜ内定が出ないのか、逆にどうして内定が出たのかもわからない。「人間力勝負・全人格勝負」であることを皆さんも承知していただきたいです。

新卒は可能性採用です。ですから心意気が重要です。「専修大学だからこの企業には入れない」と平気で口にする学生が最近多くなりました。ご入学いただいた専修大学は138年の歴史を持ち、26万8,000人以上の卒業生を輩出している歴史も伝統もある大学です。ですから胸を張って就活に臨んでいただきたいと思います。なかなか内定が出なくても、諦めずに就職活動を続ければ必ずいい出会いがあります。就職課は卒業まで、そして卒業後も応援していますので、ぜひ就職課を活用するよう促していただけたらと思います。